

# VLRから探る地域のSDGs推進 ～地方自治体と市民社会の協働の可能性～

市民参加型のSDGs推進報告 - 京都のCSOより

有限責任事業組合まちとしごと総合研究所

代表組合員 東 信史



# 東 信史

Higashi Nobufumi

有限責任事業組合  
まちとしごと総合研究所

ファシリテーター  
ワークショップデザイナー

地域・社会の課題解決  
プロジェクトの運営

龍谷大学/京都精華大学  
非常勤講師

本日は宜しくお願ひ致します！

# まちとしごと総合研究所とは？

- 名称：有限責任事業組合まちとしごと総合研究所（通称：まちごと総研）
- 設立日：2014年7月25日
- 所在地：〒602-0862 京都市上京区河原町通丸太町上る出水町284番地  
（西三本木通丸太町上ル）
- 連絡先：（Tel）075-257-7871（Fax）075-257-7846
- 組合員：岡本卓也／東信史（代表）／三木俊和（以上3名）
- 意思決定機関：組合員会議
- 職員数：36名（専従職員10名、スタッフ26名）

地域づくり・仕事づくりを専門とする

民間・市民による地域のためのシンクタンク。

地域の課題解決を切り口に、そこに住まう住民の方々と  
地域の未来を描き、実現していくプロジェクトを複数実施。



**まちづくり**



拠点づくり

# 都市計画づくり





まちとしごと総合研究所



Community Learning Center  
伏見いきいき市民活動センター



東山いきいき  
市民活動センター

“みんなごと”のまちづくり推進事業

活動進化  
プログラム

地方創生

有田川という未来

ARIDAGAWA 2040

京都動物愛護センター

愛称: 動物愛ランド・京都



旅する編集学校



SDGsができる前から京都市とこれまで実施してきたこと（市民協働）



# 京都市未来まちづくり100人委員会

「京都市未来まちづくり100人委員会」は、京都の未来を築くため、幅広い分野の市民の参加による市民主体のまちづくりを推進することを目的に、2008年9月に創設。



京都のまちづくりについて市民自らテーマを設定し、多様な観点から議論し、その結果を広く社会に発信するとともに、課題解決に向けた実践を行っています。

SDGsができる前から京都市とこれまで実施してきたこと（市民協働）

# “まちづくり・お宝バンク”



## まちづくり・お宝バンク

～ひとごとではなく、「自分ごと」、「みんなごと」として市民・行政が協働！～  
“みんなごと”のまちづくり推進事業

京都のまちの様々な課題の解決を「ひとごと」とせず、市民と本市が共に「自分ごと」、「みんなごと」と捉えて協働するまちづくりを推進するため、広く市民の皆様から、京都がもっとよくなる、もっと住みやすくなる、まちづくりの取組提案を募集し、「まちづくり・お宝バンク」に登録・公開するとともに、提案の実現や市政への反映に向け、多彩な市民力・地域力を活かした、きめ細かなサポートを行っています。

お宝(まちづくりアイデア)を投稿する

SDGsができる前から京都市とこれまで実施してきたこと（市民協働）

# “まちづくり・お宝バンク”



まちづくり・お宝バンク

405件

～ひとごとではなく、「自分ごと」、「みんなごと」として市民・行政が協働！～  
“みんなごと”のまちづくり推進事業

京都のまちの様々な課題の解決を「ひとごと」とせず、市民と本市が共に「自分ごと」、「みんなごと」と捉えて協働するまちづくりを推進するため、広く市民の皆様から、京都がもっとよくなる、もっと住みやすくなる、まちづくりの取組提案を募集し、「まちづくり・お宝バンク」に登録・公開するとともに、提案の実現や市政への反映に向け、多彩な市民力・地域力を活かした、きめ細かなサポートを行っています。

お宝(まちづくりアイデア)を投稿する

# フードロス関連事業



さらえるキッチン

# 自死自殺相談

「死にたい」  
そんな気持ちの  
居場所をつくりたい

Sotto  
おでんの会

Sotto おでんの会

# 放課後の学び場

放課後インタビュー

After School Channel

子ども本音アンケート

子どもも、大人も、  
みんなであらう、  
これからの放課後。



## 放課後はゴールデンタイム

After School is Golden Time for Children

by 放課後NPO



# 放課後NPOアフタースクール



放課後

**SDGsを絡ませて進める背景や実際の声**

# SDGsを絡ませて進める背景や実際の声



## X Cross Sector Kyoto (クロスセクターキョウト)

「まちづくり団体、NPO、企業、行政、大学関係者等」の異なる多様なセクターの主体が共通のゴールを掲げ、お互いの強みを出し合いながら地域課題の解決を目指すためのプログラム。



第1期では約40名のメンバーが参加し、6つのプロジェクトが発足。公開講座を通じて120名以上の方々が参加し、学び繋がり、新たな活動の機転となるプログラムとして運営しています。

# 持続可能なまちづくりを支える様々な市民の活動



「学区民運動会」



住宅用火災予防装置点検

子ども見守り隊

京都のSDGs探し



「自主防災会」の訓練



門掃きの伝統



使用済み天ぷら油回収



「地藏盆」

まち美化活動



京都に伝わる「暮らしの哲学」「生き方の美学」



# これからの 1000年を紡ぐ 企業認定

CERTIFICATE TO AN ENTERPRISE  
WEAVING A THOUSAND YEARS  
INTO THE FUTURE

京都市ソーシャルイノベーション研究所の取り組み

- **事業創造時の視座**

アクションプランの長期視点での検討、検証  
多様なステークホルダーに対する理解、交流の促進

- **多様な主体との連携**

実現に向けた様々なステークホルダーとの連携の検討  
関係性の構築による新たな事業機会の創出

- **事業PRにおける共通言語の共有**

域内で同様のプロジェクトに取り組む主体同士のつながりづくり  
自分たちの取り組む事業に対する貢献意識の醸成

- 17の目標視点からの落とし込み

課題ありきの活動のスタートによる受益者/関係者との齟齬の発生  
協働や連携ではなく、一方的な活動の発生

- 長期的視点と短期的活動のバランス

プログラム内での事業創出におけるバランス  
短期目標と長期目標の設定の難しさ

どのようにSDGsを  
地域活動に浸透させていくべき？

どのようにSDGsを地域活動に浸透させていくべきと考えるか

---

## ① 関係性構築や相互の理解促進

課題解決のプロジェクト創出を目指すだけでなく  
プロセスにおいて相互理解や、取り組みにおける関係性構築を視座に入れる

## ② 身近な問題から考え、SDGsをヒントに取り組む

身近な身の回りにある違和感やモヤモヤをベースに対話し始め  
社会や世界の問題に接続しながら課題設定を行っていく

## ③ コネクター、アドバイザーの重要性

活動の主体だけでなく、周りを取り巻くプレイヤーによる  
SDGs視点でのアドバイスや活動の連携の促進をするポジションが重要